



2025年度 3学年通信

Be Ambitious

甲府東高等学校
2025. 10. 24(金)
第8号

「学年通信」は、生徒の皆さんが読み終わった後、必ず保護者の方に渡してください

白雲自去来（はくうん おのずから きょういす）

学年主任 野村 明日香

本校に金木犀の香りが漂う季節となりました。先日学校茶道の集いに参加した際、お軸にタイトルとした禅語が飾られていました。この句は「青山元不動（せいざんもとふどう）」の対句です。雲は刻々と動いているけれども山は動いていないという、禅語らしい現実描写の隠喩です。目先の大きな変化に対して、本質的で変わらないものがあることを諭す言葉です。つまり、周囲の状況や心の揺れに惑わされず、自分の軸をしっかり持ちなさいという教えです。

不安や迷いは誰にでもあるものです。それは雲のように、浮いては消えるものだと思います。大切なのは、山のようにぶれずに、本来の目標に向かって努力を続けることです。

今年ノーベル賞を受賞した坂口志文氏と北川進氏は、苦しい時にあっても「興味を持ち続け、努力を重ねることの大切さ」を語られました。「自分で興味があることを大切にすると新しいものが見えてくる。ずっと続けていると気がついたら面白い境地に達する」と坂口氏は話されています。興味や関心は、困難を乗り越える力になります。また、北川氏はレイ・パスツールの言葉を子どもたちへ伝えたいと引用しました。「幸運は準備した心の中にのみ宿る」運は偶然ではなく、日々の積み重ねの中にこそ宿る。今の努力が、未来の幸運を引き寄せるのです。

迷いや焦りは誰にでもあるもの、それにとらわれすぎず、静かに、しかし確実に準備を進めてください。みなさんなら大丈夫です。これからどんどん伸びます。面白い境地に達しましょう。

11月の主な行事予定

- 11月 1日（土）進研・駿台共通テスト模試（10/31から） 変更がある場合は10/27に連絡します
2日（日）学校創立記念日
3日（月）文化の日
7日（金）保護者対象進路研修会
7日（金）～8日（土）全統プレ共通テスト模試
11日（火）▲カセット授業
12日（水）登校時マナーアップ運動 第3回定期試験時間割発表（～18日 学習強化週間）
14日（金）教育相談
19日（水）、21日（金）、25日（月）、26日（火）第3回定期試験
26日（火）④グリーンキャンペーン
27日（水）成績処理日（生徒休業日）
29日（土）土曜講座



「通過儀礼」

3年1組 副担任 平川 久

この原稿を作っているのは、10月上旬の水曜日。その前夜、NHK 総合テレビで懐かしい番組の映像を見ていました。タイトルは「3年B組金八先生 ～時代に切り込んだ学園ドラマ～」でした。私の中学生時代は、ちょうど、その「金八先生」第1シリーズが始まった頃であり、実際、私が通っていた中学校も今でいう「授業崩壊」的なことがあったような記憶があります。

そんな「過去」を持ちながら、恐る恐る私自身の高校生活がスタートしたわけですが、入学式が終わり、まもなくして行なわれた放課後の「応援練習」に大きな衝撃を受けました。1週間（5日間）に渡り、放課後になると旧校舍A号館という建物の屋上に1年生は集められます。クラスごと、番号順に、前後左右等間隔で、「気を付け」の姿勢のままでじっとしています。1年生の周り、または列と列の間には、ドラマの中に登場していたような髪の毛の形をした先輩方が、竹刀を持って巡回しています。この上ない緊張感と集中力の中、応援の型や校歌・応援歌の歌詞を一字一句間違えることなく覚えることができました。

約15年前にその母校に3年間勤務し、3年目に受け持ったのが、私にとっての最後の「担任」のクラスでした。その時感じた、高校生として過ごしていた3年間との一番の違和感は、4月の応援練習の「簡略化」でした。時代の流れと言えはそれまでですが、あの中学校生活を送ってきた新入生にとっては、あの「鬼気迫る」1週間こそが、中学校と高校との境目だったのだなあ、と今となっては懐かしい気持ちで一杯です。そして、一抹の物足りなさを感じたというのも偽らざる事実です。

10年前に郡内の高校に異動し、そこに3年勤務し、その後、甲府盆地の東部にある高校に3年間勤務しました。驚いたことに、その2校では今でも「ハードな」応援練習が行なわれていました。郡内の高校では4月の入学後1週間ぐらいたった頃、昼休みに2・3年生が務める応援団が1年生の各教室にやってきて、校歌の練習等を行なっていました。これが5日間続きます。もう一つの高校では、やはり4月の同じ頃、放課後になると体育館のカーテンを閉めた状態で1年生は集合し、校歌の練習等を行なっていました。社会や時代の流れとともに、再検討や見直しは必要だと思いますが、私の中で応援練習は連帯感や学校愛などのきっかけとなった、「通過儀礼」となったのではと感じています。